

研究課題：IgA血管炎の様々な臓器における画像所見についての後ろ向き研究

1. 研究の目的

IgA血管炎によって障害を受けた臓器の画像所見についてまとめます。

研究の概要

IgA血管炎は、さまざまな臓器に障害を及ぼす可能性のある全身性の血管の炎症性疾患です。とくに腎臓や消化管が障害される臓器として有名ですが、そのほかにも膀胱や精巣などの臓器に障害を及ぼす可能性があります。超音波は、小児でははじめに行われる検査であることが多く、非特異的な症状のIgA血管炎の場合、超音波所見からこの疾患が疑われる可能性があります。そのため、この疾患の画像所見に精通することによって、早期診断や、皮膚所見など、そのほかの臨床所見の参照を進めることができます。今回の研究では、IgA血管炎が疑われ受診した患者の臨床情報、単純レントゲン、超音波検査、内視鏡検査、核医学検査、CT、MRI所見をまとめます。これらの画像所見に精通することによって、より正確に早く診断と介入が可能となると考えられます。

2. 研究の方法

研究対象は2006年9月から2022年11月までにIgA血管炎が疑われ当院を受診した患者を対象とし、精査、加療が行われた症例を後方視的に調べます。

3. 研究期間

2023年1月（倫理委員会で承認を得られた日）から2023年12月までに臨床情報、治療法、画像所見などを後方視的に調べます。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

臨床情報と画像検査、その後の経過に関する事柄（画像、検査所見、治療方法、臨床所見）を調べまとめます。画像（個人情報は一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

実施責任者：放射線科 医 長 細川崇洋

実施分担者：放射線科 副院長 小熊栄二

放射線科 医 長 佐藤裕美子

医 員 加賀屋駿

個人情報管理者：放射線科 科長 田波穰

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023年4月30日にまで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）